授業科目名【科目コード】	教員の免許状取得のための必修科目	単位数	担　当	山本　泰三	対象区分	すべて	—	—
教育の方法と技術Ⅱ【1236】		1単位	教員名			—	—	—
科　　目		教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）						
各科目に含めることが必要な事項		・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）						

授業の到達目標及びテーマ

・幼児への指導科目に対する最適な教育方法と、教育機器の効果的な活用方法を習得する。
・幼児教育の視聴覚メディアの再認蔵と利用方法理解、及び育児支援等社会活動運営への応用研究。
・幼児教育における視聴覚メディアの意味を理解し、対象者とその背景を考慮した教育環境として活用するための知識を習得し、方法を体験する。

授業の概要

「教育の方法と技術Ⅰ」で学んだ授業の評価・分析方法、教具・教材・教科書の関連などの基礎的な教育方法をさらに展開し、実践しながら理解する。そして、情報技術の解説によってICTを活用した教育機器の特性を理解して、その効果的な活用方法を習得し、子どもたちの主体的な学習意欲を向上させるための方法を修得する。

授業計画（全回スクーリング）

第 1 回：教材研究（教材・教具・教科書の定義、教科書の役割）
第 2 回：人形劇という伝達メディアとペープ・サート　～人形の操作と伝えるもの
第 3 回：掲示物や板書、ポスターの意味と認識レベル　～人の動機付け理論と脚本
第 4 回：教材開発（1）企画、制作
　　グループによる、課題「意味するモノと意味されるモノ」（記号・サイン）によるプレゼンテーション演習・講評・自己分析シート作成
第 5 回：教材開発（2）実演、評価
　　自己動画記録の時間軸分析と内容構成の対効果評価（チェックシート記入）・修正点及び改善策の試行錯誤
第 6 回：教育機器の利用（1）（教育機器の分類と特性、教育機器へのインターネット活用）
第 7 回：教育機器の利用（2）（教育機器へのICT　活用、ソフトウェアを活用した教育機器）
第 8 回：視聴覚メディアとコンピュータの利用　～メディアリテラシー（情報モラル教育）

テキスト

「幼稚園教育要領」（文部科学省）「幼稚園教育要領解説」（文部科学省）

参考書・参考資料等

「教育の方法と技術」学習指導書　山本泰三 著　大阪芸術大学短期大学部通信教育部 発行

学生に対する評価

提出物（レポート）、発表（企画内容、資料操作）で評価する。

持参物

・筆記用具
・ハサミ、定規、カラーサインペンセット（水性・ペン先が3―5ミリの太さ・数色）、接着剤（事務、紙用）